

- 令和元年10月30日、「北海道のインフラを造り・守る技術者の育成を考える」をテーマに、北海道技術者育成プラットフォームが主催するシンポジウムを初開催。国、道、自治体、民間企業など約150名が参加。
- 基調講演、パネルディスカッションを通じて、激甚化する災害への対応やインフラマネジメントを担う技術者の育成について活発な議論がなされ、今後の当プラットフォーム活動に対する期待が寄せられた。

令和元年度北海道技術者育成プラットフォームシンポジウム ～北海道のインフラを造り・守る技術者の育成を考える～

<開催概要>

- 日時：令和元年10月30日（水）14:00～16:30
- 場所：札幌第1合同庁舎 2階講堂
- 主催：北海道技術者育成プラットフォーム
- 参加：約150名



開会挨拶

<プログラム>

- 開会挨拶：北海道技術者育成プラットフォーム会長 三上 隆 氏
- 基調講演：北海道大学電子科学研究所長 中垣 俊之 氏
- パネルディスカッション
- 活動紹介：国土交通省北海道開発局開発調整課長 小林 幹男
- 閉会挨拶：北海道技術者育成プラットフォーム副会長 栗田 悟 氏

基調講演

「単細胞生物にみる社会づくりの基本設計」 中垣 俊之 氏

中垣所長の研究テーマである単細胞生物のアメーバ運動を視点とした北海道交通網のシミュレーションや技術者育成の重要性について、映像、写真等を活用してわかりやすくご講演頂きました。

<プロフィール>

1987年北海道大学薬学部卒、1989年同大薬学研究科修士修了、製薬企業就職。名古屋大学人間情報学研究科博士課程、1997年に同博士修了し学術博士となる。2000年北海道大学電子科学研究所助教授、2010年公立はこだて未来大学システム情報科学部教授を務め、2013年北海道大学電子科学研究所教授となり、2017年より同所長。専門は物理工ソロジー。2008年イグノーベル賞認知科学賞、2010年イグノーベル賞交通計画賞。



中垣 氏

パネルディスカッション

「技術者育成の課題解決に向けた産学官の連携」

○コーディネーター

北海道大学工学研究院教授 蟹江 俊仁 氏

○パネリスト（五十音順）

- 建設どさん娘の会(一二三北路株式会社) 稲垣 沙也加 氏
- 岩田地崎建設株式会社技術部長 河村 巧 氏
- 留萌市都市環境部長 斉藤 一司 氏
- 株式会社ズコーシャ札幌支社 永山 千尋 氏
- 学校法人常松学園札幌工科専門学校長 三上 敬司 氏

<意見交換概要> 建設業就業者の高齢化と若手技術者が不足し、年齢構成の偏りや人手不足が深刻化しているなか、激甚化する災害への対応やインフラマネジメントを担う技術者の育成について活発な議論がなされ、課題解決に向けて産学官が連携し、各機関のノウハウを活用した強靱で持続可能な国土形成に必要な不可欠な技術者の育成を図るための意見交換を行いました。



蟹江 氏



稲垣 氏



河村 氏



斉藤 氏



永山 氏



三上 氏